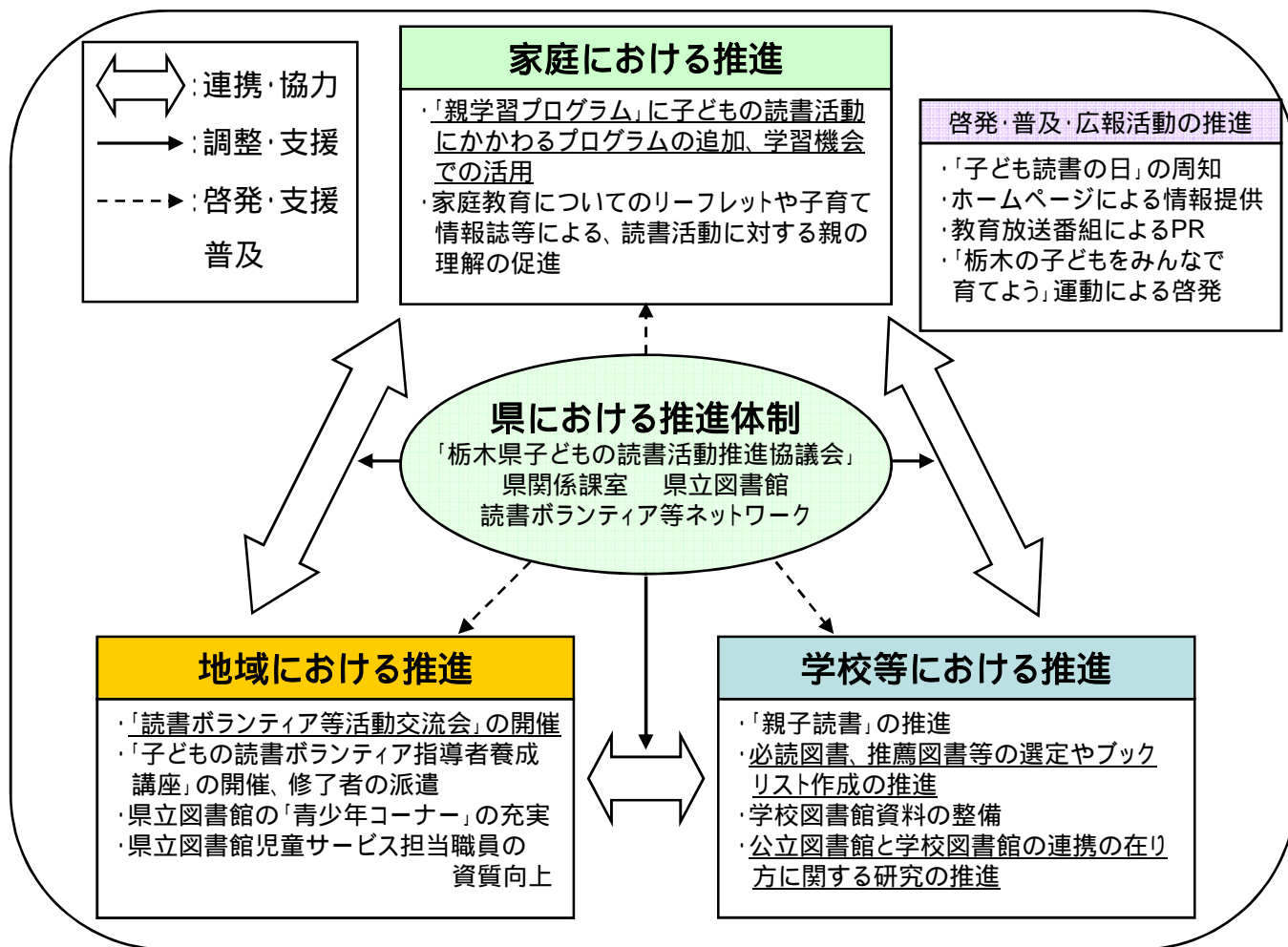


「栃木県子どもの読書活動推進計画(第二期)」の概要

これまでの成果	今後の課題	子どもの読書活動をめぐる国の動向
<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートの取組市町の割合増加 (H16:61.2%→H19:96.8%) ・公立図書館・公民館図書室の児童図書の年間貸出冊数の増加 (H16:11.7冊→H19:12.5冊) ・1か月間の平均読書量の増加(単位:冊) (H16 小5:4.31 中2:1.89 高2:1.44 →H19 小5:4.85 中2:2.26 高2:1.42) ・学校図書館図書標準を達成している学校数の割合が増加 (H16 小:52.3% 中:50.3% →H19 小:58.6% 中:52.7%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学齢が進むにつれ、不読率が増加 (小5:7.9% 中2:16.9% 高2:39.0%) ・子どもの読書活動にかかわるボランティア数の伸び悩み (H16:1,519人→H19:1,837人) ・本をほとんど読まない理由として、「マンガやテレビの方が面白い、特に読みたい本がない」等と回答する子どもの割合が、小・中・高ともに高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年12月 「文字・活字文化振興法」公布・施行 ・平成20年3月 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定 ・平成20年6月 2010年を「国民読書年」とする決議

二期計画の主な内容

- ・一期計画における成果と課題の整理
- ・家庭、地域、学校等での取組に再構成
- ・県内市町、関係団体等の連携強化
- ・努力目標の設定



- ・県内のすべての子どもが、あらゆる機会や場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭、地域、学校を通じた社会全体で取り組むための環境の整備
- ・市町や関係機関の積極的な取組や、県民をはじめ関係団体等の主体的な活動の促進